

「仙白園プロジェクト・人」

若林区中央市民センター

1 事業概要

活動の柱は当区の若者事業が代々継承している「畑づくり」です。これは当センターが伊達家から続く養種園跡地に立地していることにちなみ、敷地内に畑をつくり（通称「仙白園」）、仙台白菜などの野菜を栽培しています。また、地域行事やボランティア活動にも参加しています。これらの活動から「地域と出会い地域で学ぶこと」を通して、「新しい気付きや学び、動きにつなげていくこと」をねらっています。

2 今年度の活動

①畑活動

年間を通して、ジャガイモ、ラディッシュ、白菜など、様々な野菜を栽培しました。畑の手入れや収穫は、若者、地域住民、子ども事業に参加している小中学生が協力して行いました。普段、土に触れる機会が少ない小中学生に体験活動の場を提供できただけでなく、収穫物を地域のNPO法人に寄付したり、地域の復興イベントで販売して収益を沿岸地域に寄付したりと、様々な成果が生まれました。



②荒町ゆうゆうフェスティバル in 荒町元気広場



「今まで活動したことのない土地で新しいことをしたい×子ども向けのイベントをしたい」という想いから生まれた「荒町ゆうゆうフェスティバル」。計画、チラシ作り、地域での宣伝、物品準備などをすべて自分たちで行いました。「本当に子どもたちは来るのか」という不安を抱えながら迎えた当日の来場者は、なんと約400名！地域の応援もあり「子どもたちを笑顔にする」、そして「地域の結びつきを強くするきっかけ作り」のイベントになりました。

3 成果と課題

体験活動の場の提供、収益の寄付、地域の結びつきを強くする場の創出など、様々な形で「地域貢献」を行うことができました。また、活動の中で地域の方々に多くの協力をいただいたり、地域の方々の想いに触れたりしたことで、「人のつながり」を強く実感することができました。一方、若者事業に参加（登録）する学生数が少なく、「メンバー不足」は年間を通じた課題でした。畑活動の内容が固定化されていることなど、活動内容に広がりを持たせることも今後の課題です。



4 今後の展望

従来活動に一工夫加えることを意識することや、「荒町ゆうゆうフェスティバル」のようなイベントの企画を続けていくことを通して、地域の魅力の発見・創出を目指します。また、これまでの活動を振り返ると、「異世代交流」は十分進んでおり、加えて「同世代交流」も進めていきたいと考えています。地域貢献活動を続け、若林区の若者事業の魅力を発信し、共に学ぶ仲間を増やしていきたいです。